



多言語対応協議会 および 多言語対応・ICT化推進フォーラムの開催

フォーラムの概要

- 目的 : 多言語対応の取組及びICTの情報を広く共有・発信し、今後の一層の推進に繋げる。
- 日時 : 平成30年1月30日(火) 10:30~11:30(協議会)、13:00~17:40(フォーラム)、10:00~17:40(展示)
- 場所 : ベルサール東京日本橋(中央区)
- 来場者数 : 約800名(協議会構成員、国・自治体・民間企業等)

内容

小池東京都知事挨拶



多言語会議システムを活用して、日本語・英語の2言語併記の字幕表記で冒頭挨拶

水落東京オリンピック・パラリンピック担当副大臣挨拶



基調講演



「日本における英語表記・表現」について
(講師: ロバート キャンベル氏)

パネルディスカッション「小売分野における多言語対応」



パネルディスカッション及び各種セミナー

- ・小売分野における多言語対応
- ・ターミナル駅における利便性向上に向けた取組
- ・海外事例から考える日本の公共サイン など

第7回多言語対応協議会



多言語対応協議会(68団体で構成)

- ・道路、交通、観光・サービス、小売分野の取組の報告
- ・経済産業省、総務省からの報告など

多言語対応に関するICT展示

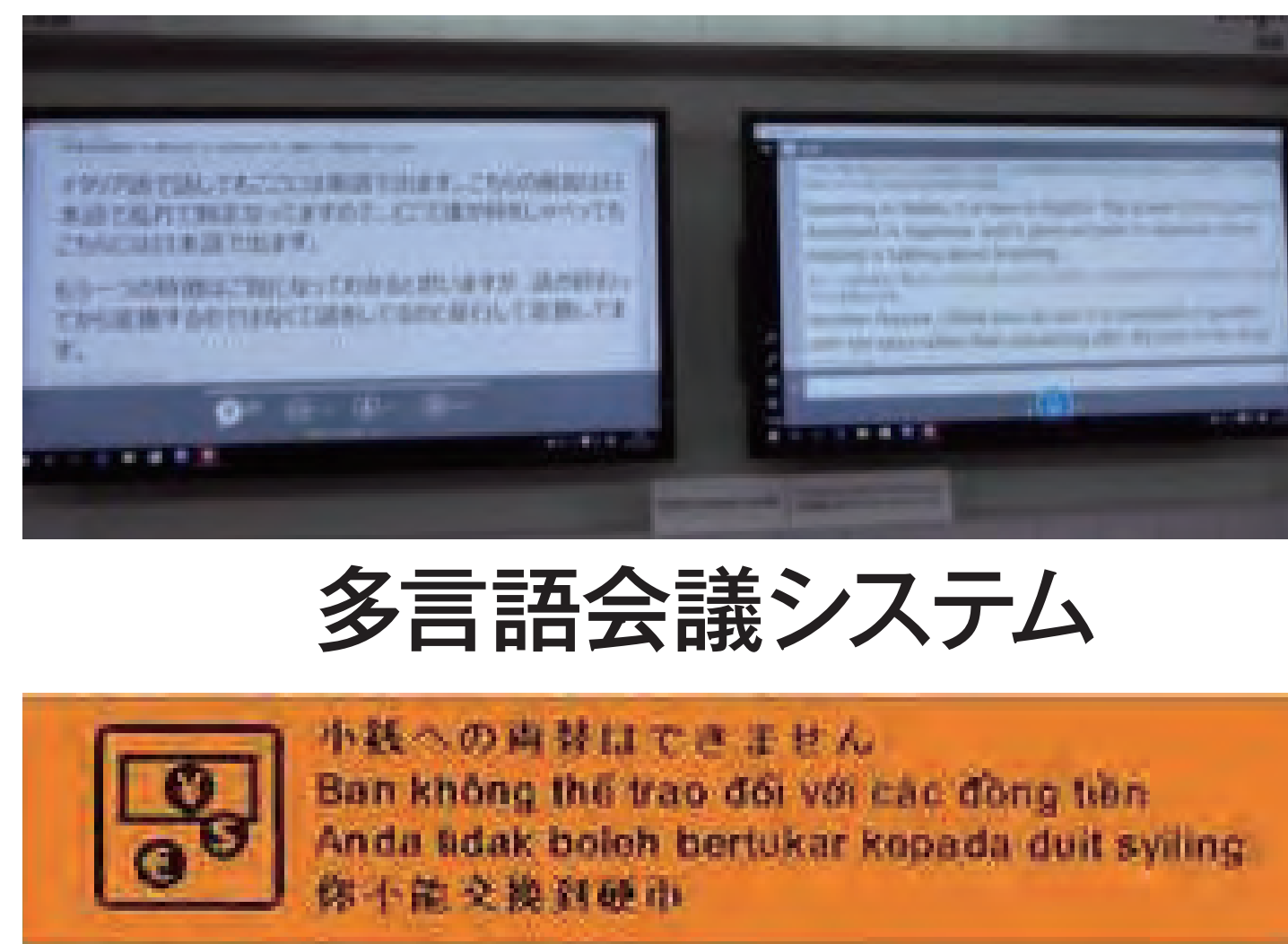
当日は、36のICT企業等(国立研究開発法人 情報通信研究機構<NICT>を含む)が出展



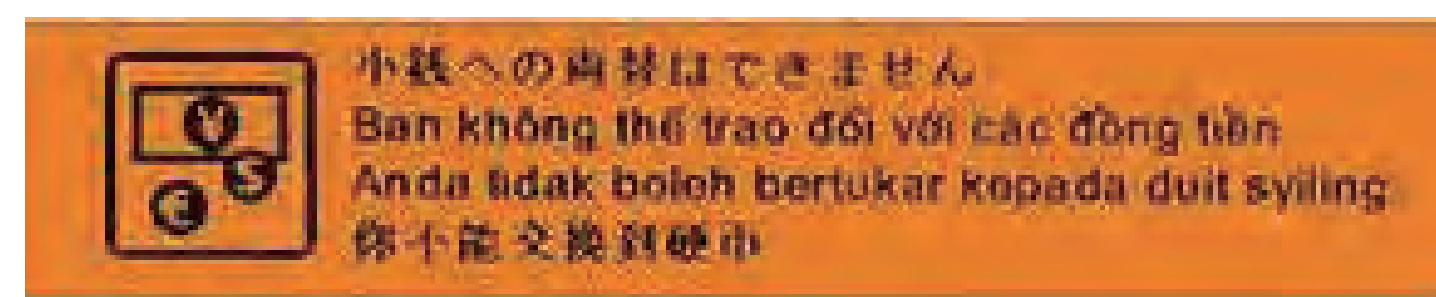
小池知事のICT視察



来場者のICT視察の様子



多言語会議システム



多言語ラベルライター



スキャン
翻訳技術



ウェアラブル
(ペンダント型)
翻訳機